

第 1 章 秋田県のすがた

第 1 節 地勢・沿革

1 地 勢

本県は、首都東京のほぼ真北約450kmの日本海沿岸にあって面積11,612km²(全国第6位)、13市9町3村に区分されています。

県北には、鷹巣、大館、花輪の諸盆地、県南は横手盆地などをつくり、一方、雄物川、米代川、子吉川などの河川に沿って肥沃な耕地が展開し、その下流には秋田、能代、本荘の各平野が開け多くの都市を發展させています。

2 沿 革

明治4年の廃藩置県によって、秋田県が誕生して以来、多くの人々が郷土の發展に力を尽くし、今日の秋田が築かれてきました。

昭和26年の「秋田県総合發展計画」以来、その時々を経済社会情勢に応じた基本目標やテーマを設定しながら、数次にわたる総合計画を策定してきました。

平成12年度からスタートした「あきた21総合計画」では、「安全・安心に楽しく暮らす秋田」等の五つの基本目標を掲げ、「時と豊かに暮らす秋田」の実現を目指しています。



年月日	羽 後 国	陸 中 国	
明治元年	久保田領 秋山河仙平雄 田本辺北鹿勝 郡郡郡郡郡 久保田藩	亀本矢仁 田莊島賀 領領領領 由利郡 亀本矢酒 田莊島田 藩藩藩藩 (民政局)	南部領 鹿角郡 南部藩
明治3年2月24日	岩崎藩(雄勝郡東部)立藩		
明治4年1月13日	久保田藩を秋田藩と改称		
明治4年7月14日	秋田県	岩崎県 亀田県 本荘県 矢島県 酒田県 江刺県	
明治4年11月2日	秋田県	岩崎県、亀田県、本荘県、矢島県、酒田県の一部(旧仁賀保領)及び江刺県のうちいまの鹿角市、鹿角郡を編入した。	
平成18年3月27日	平成16年度～17年度 市町村合併 「9市50町10村」から「13市9町3村」となった(詳細はP4)。		

第 2 節 自然・気象

1 自然

本県は、全国で6番目という広い面積を持ち、春の新緑、夏の空と海の青さ、秋の紅葉、冬の雪景色といった色彩感あふれる四季の変化に富んだ自然を誇り、その息吹を身近に感じながら生活することができます。



駒ヶ岳とチングルマ



入道崎



十和田湖



法体の滝



樹氷の八幡平

2 気候

当県の気候は、概ね出羽山地により海岸部と内陸部の2つに区分されます。海岸部は全般的に対馬海流の影響を受けてしのぎやすく、冬期間でも積雪は少なめです。

内陸部は夏には比較的高温となり、冬は寒さが厳しく積雪も多くなります。県の面積のほぼ半分が特別豪雪地帯となっております。

全般に長い冬と短い夏が特徴で、四季の変化がはっきりしています。

	秋田	札幌	仙台	東京
最低気温 (°C)	- 5.0	- 9.4	- 3.0	0.2
最高気温 (°C)	37.0	34.2	37.2	37.5
年平均気温 (°C)	12.4	9.4	13.1	17.0
年間日照時間 (h)	1,578.2	1,730.1	1,853.6	1,996.0
年降水量 (mm)	1,555.0	1,028.5	1,343.5	1,332.0
降水日数 (日)	158	132	98	89
雪日数 (日)	89	130	50	3

資料：平成19年気象データ(気象庁)

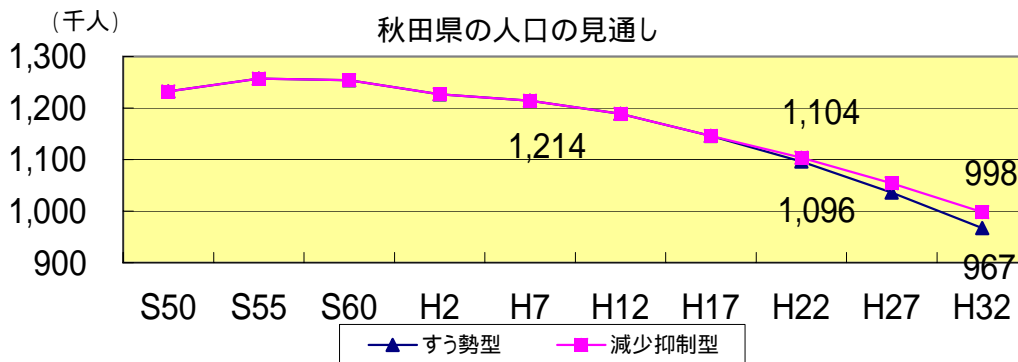
第3節 人口・産業構造

1 人口

本県の人口は昭和57年(1982年)から減少に転じ、平成17年10月(2005年)には約114万人となっています。「あきた21総合計画」では、減少抑制型で、平成32年(2020年)には100万人をきる推計結果になっています。

人口動態についてみると、自然動態は平成5年(1993年)に減少に転じ、平成19年では前年に比べ、約5,900人の減となっています。一方、社会動態は、一貫して減少傾向であり、平成19年は前年に比べ約6,800人の減となっています。

また年齢別では、年少人口(0～14歳)、生産年齢人口(15～64歳)の割合が年々低下している一方、老年人口(65歳以上)の割合は、上昇しており、平成19年は約28%となっています。



すう勢型は現状のまま出生率などが推移した場合の人口を、また、減少抑制型は少子化対策、雇用の創出などにより、出生率の回復や人口流出が抑制された場合の人口を示している。

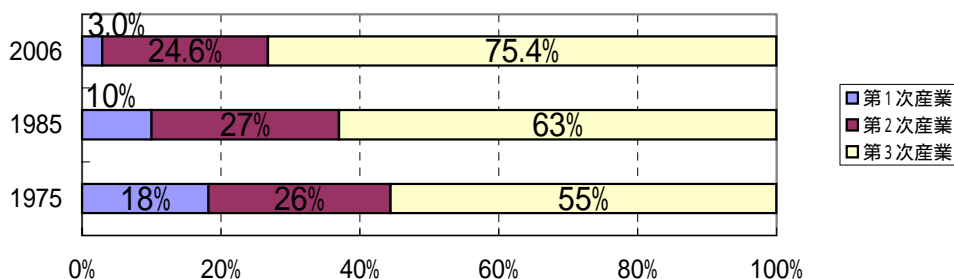
出典「あきた21総合計画 第3期実施計画」、「平成19年秋田県年齢別人口流動調査結果[速報]H19.11」

2 経済・産業構造

平成18年度の県内総生産(名目値)は3兆7,936億円で、前年度に比べ1,019億円(2.8%)増加しました。また、一人当たり県民所得は、2,344千円となり、前年度に比べ4万9千円(2.1%)増加しました。

生産面においては、名目で米の生産減と価格下落により第1次産業が減少、第3次産業においても電気・ガス・水道業等で減少したものの、第2次産業において製造業が電気機械を中心に大幅に増加し、全体として増加しました。

区分		17年度	18年度	対前年度増加	
				金額	率
秋田県	県内総生産(名目)	36,917 (億円)	37,936 (億円)	1,019 (億円)	2.8
	県民所得	26,285 (億円)	26,584 (億円)	299 (億円)	1.1
	1人当たり県民所得	2,295 (千円)	2,344 (千円)	49 (千円)	2.1
全国	国内総生産	5,038,447 (億円)	5,118,770 (億円)	80,323 (億円)	1.6
	国民所得	3,666,612 (億円)	3,732,466 (億円)	65,854 (億円)	1.8
	1人当たり国民所得	2,871 (千円)	2,922 (千円)	51 (千円)	1.8



資料：「秋田県県民経済計算平成18年度速報」(秋田県)

3 面積

本県の総面積は約11,612km²、全国第6位で、東京都、埼玉県、千葉県の合計を上回ります。また、比較的大きな各市町村の面積規模が、市町村合併によりさらに大きくなり、由利本荘市と北秋田市の合計だけで東京都や沖縄県を上回り、神奈川県にほぼ等しい面積になります。

秋田県市町村区域図

